



U.S. DEPARTMENT OF
HEALTH AND HUMAN SERVICES

www.hhs.gov/news | 202-690-6343

FOR IMMEDIATE RELEASE

ケネディ長官、CDCの予防接種実施諮問委員会に医師2名を任命

ワシントン発—2026年2月27日—米国保健福祉省（HHS）と疾病対策センター（CDC）は本日、CDCの予防接種実施諮問委員会（ACIP）に新たに2名の委員を任命したことを発表しました。これらの任命は、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官が、国の予防接種政策を導く上で、透明性、厳密な科学、そして多様な臨床専門知識を重視してきたことを反映しています。2025年6月、ケネディ長官はワクチンに対する国民の信頼を回復するため、ACIPを再編しました。

新委員は以下の2名です。

ショーン・G・ダウニング医師（内科および小児科専門医）。ダウニング医師はフロリダ州の医師免許を持ち、20年以上にわたり生涯にわたるプライマリケアを実践してきました。フロリダ州サラソタでは内科と小児科コンシェルジュケアを担当し、サラソタ記念病院への入院資格も持っています。以前はニューハンプシャー州ナシュアで医療保険未加入の患者を担当する外来プライマリケア医として勤務し、救急医療現場でパートタイムで勤務していました。ダウニング医師はブラウン大学で内科と小児科の複合レジデンシーを修了し、ジョージタウン大学医学部で医学博士号を取得しました。大学院では生理学と薬理学の研修も受けています。

アンジェリーナ・ファレラ医師は小児科医であり、テキサス州ウェブスターにある A Brighter Tomorrow Family Health and Wellness のオーナーです。ファレラ医師は20年以上にわたり小児科医療を実践しており、2004年からは自身のクリニックを開設し、個人診療、小児救急医療、代診など、幅広い臨床業務を担ってきました。ファレラ博士は、テキサス大学医学部（UTMB）で小児科レジデント研修を修了し、小児科チーフレジデントを務めました。また、UTMBの臨床助教授、ウィリアム・ケアリー大学オステオパシー医学部の非常勤臨床教授など、学術関係の役職も歴任しました。ファレラ博士は、ロス大学医学部で医学博士号を優等で取得し、ラトガース大学で生物学の学士号を取得しています。

「ACIP（公衆衛生政策諮問委員会）は、エビデンスをオープンに精査し、厳しい質問を投げかけ、透明性のある審議を通じて国民の信頼を得る必要があります」とケネディ長官は述べました。「ダウニング博士とファレラ博士は、数十年にわたり、小児、成人、そして家族のケアにおいて実社会での経験を有しています。その最前線の視点は、ゴールドスタンダードの科学に基づき、国民の信頼に値する勧告を行う上で不可欠です。」

「公衆衛生は、科学が厳密で、プロセスが透明であるときに最も効果的に機能します」と、CDC（疾病対策センター）のジェイ・バッタチャリア医学博士は述べています。「これらの任命により、ACIPは、患者とその家族にとって予防接種ガイドンスがいかに重要であるかを理解している経験豊富な臨床医の確保によって強化されます。」

ACIPは、米国民間人におけるワクチン予防可能な疾患の制御のための予防接種の活用について、CDC長官とHHS長官に勧告を行っています。

###

ケネディ長官、「健康を取り戻そう」ツアーのオースティン訪問で食生活ガイドラインの推進を訴え

テキサス州オースティン—2026年2月27日—ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は、今週、オースティンで全米規模の「健康を取り戻そう」ツアーを継続しました。「本物の食べ物を食べよう」集会のメインイベントに出席したほか、カニンガム小学校を訪問し、栄養価の高い学校給食の重要性と、改訂された「米国人のための食生活ガイドライン」について訴えました。

2月26日、ブラズス・センターには600人以上が集まり、MAHAアクション主催の「本物の食べ物を食べよう」集会でケネディ長官の基調講演を聞きました。この集会は、本物の栄養価の高い食品を米国の食生活の中心に取り戻すことに焦点を当てています。

「本物の食べ物は公衆衛生の基盤であり、トランプ大統領のリーダーシップの下、私たちはそれを再び米国の食卓の中心に据えようとしています」とケネディ長官は述べました。「テキサス州は、崩壊した食料システムを改革し、子どもたちの健康を第一に考え、「アメリカを再び健康にする」というスローガンの実現に貢献しています。」

イベントでは、MAHAホールディングスCEOのアレックス・ハーディ氏、ナショナル・デザイン・スタジオ最高デザイン責任者のジョー・ゲビア・ジュニア氏、HumanCo創設者のジェイソン・カープ氏、ホワイトハウス上級顧問のキャリー・ミーンズ氏、そしてモニカ・デ・ラ・クルス下院議員（テキサス州第15選挙区）が講演しました。

「南テキサスの人々は、本物の食材がどのようなものかをよく知っています。新鮮な食材を丁寧に育て、愛情を込めて作り、何世代にもわたって受け継がれてきたものです。だからこそ、ケネディ国務長官の新しいフードピラミッドは画期的な出来事です」とデ・ラ・クルス下院議員は述べました。「数十年ぶりに、本物の栄養価の高い食品が、本来あるべき場所、アメリカ人の食卓の中心に戻ってきました。子どもたちは、知性を研ぎ澄ますために必要な栄養と、学び成長するためのエネルギーを与えてくれる本物の食品に値します。私は、アメリカの家族の健康を国家の優先事項とするトランプ政権に賛同できることを誇りに思います。」

2月27日、ケネディ長官はオースティン独立学区（ISD）のカニンガム小学校を訪れ、同校が生徒の健康的な食事に力を入れている様子を直接視察しました。長官は校内のカフェテリアとエメリル・ラガッセ教育キッチンを視察し、手作りの調理方法や食材調達の様子を視察したほか、教育関係者や学校関係者と、自然食品と栄養バランスを重視したメニュー開発について話し合いました。

給食カウンターで、ケネディ長官は3年生に蒸しブロッコリーを配り、その後カフェテリアに移り、健康的な食習慣と栄養価の高い学校給食の重要性について話し合いました。

「ケネディ長官をカニンガム小学校にお迎えし、学校給食の現場を視察する機会を得られたことを、私たちのチームは大変誇りに思っています」と、カニンガム小学校の給食・倉庫運営担当エグゼクティブディレクター、ライアン・ミコライシク氏は述べています。「キッチンチームが毎日どのように新鮮で本物の食材を調理しているか、生徒たちと交流し、栄養価が高く、丁寧に調理された食事が生徒たちの成功と健康にどのような影響を与えているかをお伝えできたことは、大変意義深いことでした。私たちはカフェテリアでの取り組みを誇りに思い、その成果をお伝えする機会を得られたことに感謝しています。」

「フォス校長、ライアン・ミコライシク氏、そしてカニンガム小学校の皆様、私を温かく迎え入れ、生徒たちに本物の食材を食べるよう奨励していただき、ありがとうございます」とケネディ長官は述べました。「学校で本物の食材を提供することで、健康的な習慣を教え、食生活に関連する病気を予防し、子どもたちの成長と健やかな成長に必要な栄養を与えることができます。学校は次世代の栄養に対する理解を形作ります。そして、カニンガム小学校はその先頭に立っています。」

オースティン滞在中、ケネディ長官は「ジョー・ローガン・エクスペリエンス」と「スキニー・コンフィデンシャル」のポッドキャストも収録し、慢性疾患予防、食料政策改革、そしてトランプ大統領の「アメリカを再び健康に」という方針について、全国的な議論をさらに深めました。

###

FDA が超希少疾患に対する個別化治療開発の加速化に向けた枠組みを発表

米国食品医薬品局（FDA）は 2026 年 2 月 23 日、患者数が少ないためにランダム化比較試験が実施できない場合に、有効性と安全性に関する確固たるエビデンスを提示することで標的個別化治療の承認を求めるスポンサー向けに、ガイダンス案を発表しました。生物製剤評価研究センター（CBE）と医薬品評価研究センター（CDE）が発表したこのガイダンス案は、ゲノム編集やアンチセンスオリゴヌクレオチドなどの RNA ベースの治療について具体的に言及していますが、疾患の根本的な原因に直接対処する限り、この枠組みが他のテーラーメイド治療にも適用される可能性を残しています。

ヘッドライン：

- AP 通信：FDA、希少疾患向けの個別化医薬品・治療法の承認制度を刷新
- NPR：FDA、遺伝子治療の迅速化を促進
- ロイター通信：米国 FDA、希少疾患向け遺伝子治療の承認を迅速化するための枠組みを提案
- POLITICO：FDA、希少疾患向け新薬ガイドラインを発表
- AXIOS：FDA、希少疾患治療薬の審査を円滑化
- Bloomberg：FDA、超希少疾患向け医薬品の承認を迅速化するための新たな枠組みを発表
- STAT：FDA、個別化遺伝子治療に関する規則を発表、希少疾患申請の急増を予測
- The Hill：FDA、超希少疾患向けの新たな治療承認制度を提案
- Washington Examiner：FDA、希少疾患向け個別化治療の促進に着手
- BioSpace：FDA、遺伝子編集と RNA ベースの希少疾患治療に重点を置く個別化制度を策定
- Fierce Biotech：FDA、個別化遺伝子編集の新たな承認制度を明らかに治療法
- MedPage Today：FDA、希少疾患遺伝子治療の新たな承認プロセスを提案
- Spectrum 1 News：FDA、希少疾患治療の承認を迅速化すると発表
- Medical Xpress：FDA、希少疾患向けのカスタマイズ医薬品および治療法の承認プロセスに関する新たなシステムを提案
- Seeking Alpha：希少疾患製薬企業は、FDA のガイダンスによる開発加速の恩恵を受ける可能性がある
- Becker's Hospital Review：FDA、超希少疾患治療のプロセスを発表
- Infection Control Today：FDA Rare Disease Day 2026：緊急性、革新性、そして患者の声を軸に前進

医師と科学者：

- Children's Hospital of Philadelphia via X：「ベッカ・アーレンズ＝ニクラス医師とキラン・ムスヌル医師は、@FDA と共に、大規模なランダム化試験が不可能な希少疾患の承認を迅速化するための新たな「妥当なメカニズム」の枠組みを発表しました。これは、私たちの患者である KJ さんへの彼らの取り組みから着想を得ました。詳細はこちら：<http://ms.spr.ly/6013QkCPR>。
- カリフォルニア大学バークレー校分子治療学教授であり、同校イノベティブ・ゲノミクス研究所の科学ディレクターを務めるフォードル・ウルノフ氏は、NPR を通じて次のように述べています。「本日のガイダンスは、個別化遺伝子編集による治療法分野において、想像し得る限り最高の『準備、さあ、ゴー！』です。…保健福祉省の幹部が『100 個の変異を引き起こす疾患に、もはや 100 件の臨床試験は必要なくなる』と述べているのを聞くと、まさに『歓喜の歌』のようです。なぜなら、これは私たちがより迅速かつ低コストで子どもたちを治療できるようになることを意味するからです。」
- フィラデルフィアにあるペンシルベニア心臓血管研究所の疾患の遺伝的・エピジェネティック起源プログラムのディレクター、キラン・ムスヌル医学博士は、MedPage を通じて次のように述べています。「私のチームは、肝臓のコレステロール遺伝子を不活性化し、コレステロール値を永続的に低下させ、心臓病に対する生涯にわたる保護効果をもたらす遺伝子治療法を開発しました。…そしてこの治療法は現在、臨床試験で成功の兆しを見せています。この種の治療法の優れた点は、GPS のような役割を果たす小さな部品を備えていることです。GPS のアドレスを変更すると、治療法は別の遺伝子に作用し、望ましい変化をもたらします。それ以外は、ほぼ同じ治療法です。…私たちは、本日発表された妥当なメカニズムの枠組みを用いて、FDA との協力を継続し、このプラットフォームの承認を可能な限り効率的に取得し、米国のすべての患者に、これらの疾患に対する個別化された治療を提供することを目指しています。」
- 心臓専門医兼研究者の C・マイケル・ギブソン氏は、X を通じて次のように述べています。「FDA がオーダーメイド遺伝子治療に関する規則を発表」希少疾患の申請が殺到すると予測されています。「スポンサーは、標的となる遺伝子変異が治療対象となる患者に固有のものであることを証明する必要があります。」スポンサーは、対象患者集団において無作為化臨床試験を実施することが実現不可能である理由を正当化する必要があります。このパスウェイは特定の規模の希少疾患に限定されず、「細胞または分子メカニズムが非常に明確に定義されているあらゆる疾患」および「この特定の問題に対して非常に的を絞った、カスタマイズされた治療法がある」疾患に適用できます。
- セントルイス・ワシントン大学の法学教授、レイチェル・サックス氏（NPR 経由）：「妥当なメカニズムに関する方針は、真の問題に対処しているように思われます…」

- ワシントン大学の PGY-3、ロバート・Y・チェン氏 (X 経由):「@US_FDA は、今後 10 年間で米国が希少疾患治療をどのようにリードしていくかについての包括的なガイダンスを発表しました。@DrMakaryFDA に心から感謝します。本当に先駆的です。」

政府関係者:

- Roger Marshall 上院議員 (X 経由):「超希少疾患の患者は、しばしば困難な状況に直面します。@SecKennedy と @DrMakaryFDA が本日発表した枠組みは、不必要な障壁を取り除き、新たな治療法への道を加速させ、患者家族に希望を与えるものであり、私は称賛に値します。」
- ダイアナ・ハーシュバーガー下院議員の Facebook 投稿:「薬剤師として、お子さんが希少疾患と診断された際に、ご家族が答えを切望する姿を目にしてきました。本日、ケネディ長官とマカリ博士と共に、米国食品医薬品局 (FDA) が超希少疾患の個別化治療を加速させるためのガイダンス案を発表する場に立ち会いました。アメリカ国民の 10 人に 1 人近く、その多くは子どもたちです。彼らは政府の対応の遅れを許容できません。トランプ大統領の「試す権利」法は、この議論を一変させました。今、私たちはこの勢いをさらに推し進め、アメリカのイノベーションを解き放ち、規制を簡素化し、患者を書類手続きよりも優先させていきます。これこそが、「アメリカを再び健康にする」というビジョンの実現です。」

支援者および団体:

- ワシントン・ヘルス・イノベーション・カウンシルおよび JK ストラテジーズ創設者のジャック・カラヴリティノス氏は、LinkedIn で次のように述べています。「ワシントン・ヘルス・イノベーション・カウンシルの創設者であり、元保健福祉省 (HHS) および食品医薬品局 (FDA) 職員として、大統領、ケネディ長官、マーティ・マカリー医師・公衆衛生学修士、そして FDA のチームの皆様、トランプ政権両期の約束である、従来の考え方を打ち破り、患者により早く治療法を届けるという約束を果たしていただいたことに敬意を表します。本日は歴史的な日です。個別化医療のイノベーターや研究者が、治療法が疾患の根底にある遺伝学的または細胞生物学的特性に作用すると考えられる十分な根拠がある疾患に対して、このアプローチを活用できるようになるからです。HHS の元同僚であり、この道筋を築くために HHS と緊密に協力してきた、精力的に希少疾患の支援活動に尽力してきたジュディ・ステッカー氏に敬意を表します。HHS のリーダーシップは、衰弱性でしばしば致命的な希少疾患に苦しむ 3,000 万人のアメリカ人を助けるために、リアルワールドエビデンスを用いた個別化医療を承認しています。患者支援団体の皆様、イノベーター、医師/研究者、そして投資家は、この新しいガイダンスに関する 60 日間の意見公募期間を活用すべきです。」
- ワシントン・ヘルス・イノベーション・カウンシルおよび JK ストラテジーズ創設者のジャック・カラヴリティノス氏は、X を通じて次のように述べています。「昨日は @HHSGov にとってまさに歴史的な日でした。患者が最優先され、イノベーターや研究者にとって、人生を変え、命を救う治療法をアメリカ国民に届けるための障壁が取り除かれました。」
- EveryLife Foundation から X 経由:「月曜日、@US_FDA は Plausible Mechanism Framework に関する詳細情報を発表しました。Plausible Mechanism Framework は、個別化治療の開発者が、その安全性と有効性、そして適切な製造可能性について十分なエビデンスを得るための支援となる一連の推奨事項です。EveryLife Foundation チームは、今後数週間にわたり、コミュニティ議会規制ワーキンググループと共にガイダンス草案を綿密に検討し、希少疾患製品の開発・評価方法における差異を考慮した政策的解決策の実現に向けて、引き続き尽力していきます。本日の Plausible Mechanism Framework ガイダンス草案の発表は、その方向への意義深い一歩となりました。」ウィルソンセンターのデイビッド・マンズドローファー暫定議長は、X を通じて次のように述べています。「長らく待たれていました。FDA と @DrMakaryFDA による素晴らしい取り組みです。」
- 全米希少疾患機構 (NORD) はプレスリリースで次のように述べています。「NORD は、希少疾患治療の発展を促進する規制ツールの強化と明確化に向けた取り組みに勇気づけられています。患者数が極めて少なく、従来の臨床試験の実施が困難な疾患の場合、規制の柔軟性が不可欠です。このガイダンス草案は、FDA の既存の権限の範囲内で、しばしば大きなアンメットニーズが存在する特定の遺伝性疾患を持つ人々のためのイノベーションを支援するものです。」
- グッドウィン法律事務所のライフサイエンス規制・コンプライアンス担当委員長、ジュリー・ティベッツ氏は、LinkedIn で次のように述べています。「ご存知ない方のために、ケネディ長官は本日開催された #HHS #raredisease イベントにおいて、#innovation の推進と #FDA の Plausible Mechanism ガイダンス草案の発表を記念し、次のように述べました。『説明責任のないイノベーションは信頼を破壊します。柔軟性のない規制は希望を破壊します。私たちは両極端を拒否します。私たちはイノベーションと説明責任を選びます。私たちはスピードと安全性を選びます。私たちは科学と思いやりを選びます。共に、治療を加速し、医師に力を与え、患者を癒し、イノベーションを促し、アメリカを再び健康な状態にします。FDA はガイダンス草案について 60 日間コメントを受け付けています…』」

- 再生医療同盟の広報担当者、スティーブン・メジャーズ氏は、STAT で次のように述べています。「より個別化された治療を確実に提供するためのガイダンスを確立することは、前向きな一歩です。」

###

FDA、超希少疾患に対する個別化治療の開発加速に向けた枠組みを発表

ワシントン発—2026年2月23日—米国食品医薬品局（FDA）は本日、患者数が少ないためにランダム化比較試験の実施が困難な場合に、有効性と安全性に関する確固たるエビデンスを提示することで標的個別化治療の完全承認を求めるスポンサー向けに、ガイダンス案を発表しました。

生物製剤評価研究センター（CBE）と医薬品評価研究センター（CDE）が発表したこのガイダンス案は、ゲノム編集やアンチセンスオリゴヌクレオチドなどのRNAベースの治療について具体的に論じていますが、疾患の根本的な原因に直接対処する限り、この枠組みが他の個別化治療にも適用される可能性を残しています。

「トランプ大統領は、アメリカの家族のために治療を加速させると約束しました。そして私たちは、特に待ちきれない超希少疾患の子どもたちのために、その約束を果たしています」と、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は述べました。「私たちは不必要な官僚主義を撤廃し、規制を現代生物学と整合させ、画期的な治療を最も必要とする患者に届ける道を切り開いています。」

「このガイダンスは、FDA が超希少疾患の患者に合わせた規制アプローチを策定するための重要な一歩です」と、FDA 長官のマーティ・マカリー医学博士（公衆衛生学修士）は述べました。「私たちの最優先事項は、科学の進歩を促進し、希少疾患に苦しむ患者により多くの治療法と有意義な治療を提供するために、障壁を取り除き、規制の柔軟性を発揮することです。」

このガイダンス草案は、特定の遺伝子、細胞、または分子の異常を標的とし、疾患の根本原因を是正または改善するように設計された治療法に焦点を当てています。主な基準は以下のとおりです。

- 疾患を引き起こす異常を特定すること。
- 治療法が根本原因または近接する生物学的経路を標的としていることを実証すること。
- 未治療患者における十分に特徴付けられた自然史データに基づく。
- 標的薬物療法またはエディティングの成功を確認する。
- 従来の承認では、治療法は臨床転帰、疾患経過、または臨床的ベネフィットを予測できるバイオマーカーが確立されている場合は、それらの改善を示す必要がある。

「個々の患者に合わせた治療法を設計することは、個別化医療の約束された目標であり続けてきました」と、生物学的製剤評価研究センター所長の Vinay Prasad 医学博士（公衆衛生学修士）は述べている。「25年を経て、FDA は初めて、こうした承認を促進するための枠組みを概説しました。『Plausible Mechanism（妥当性メカニズム）』の枠組みは、レギュラトリーサイエンスにおける革命的な進歩です。」

「『Plausible Mechanism』のドラフトガイダンスは、超希少疾患の患者に合わせた最先端のテーラーメイド治療を FDA 承認の根拠として使用できる、新たな枠組みを構築します」と、医薬品評価研究センター所長代理の Tracy Beth Høeg 医学博士（医学博士）は述べている。「我々は、この『妥当なメカニズム』に関するガイダンス案が、業界が個別化治療にさらに重点を置くよう促し、ひいてはイノベーションの促進、安全性の向上、コストの削減、そして超希少疾患を抱えるより多くの患者に命を救う治療の機会を提供することにつながることを期待しています。」

ゲノム編集技術は特定の DNA 配列に高度に特異的に設計されているため、単一遺伝子の異なる変異を標的とする製品を単一の製品申請に含め、これらの製品バリエーションを単一の試験で評価するマスタープロトコルを用いて評価することが可能です。十分に裏付けられた「妥当な」作用機序は、当初の承認を裏付けるために用いられた臨床試験には含まれていなかった変異を持つ患者を治療することを目的とした、同様のゲノム編集製品バリエーションの追加を支持するために活用される可能性があります。

FDA は、このような状況において、適切かつ十分に管理された臨床試験はサンプル数が少ないため、試験結果は偶然の所見を排除できるほど十分に堅牢であるべきであることを認識しています。FDA は有効性を判断する際に、特定の疾患、エビデンスの強さ、そして個別化治療に関する臨床試験を実施する際の課題を考慮します。

ガイダンス草案「生物学的原因が既知の特定の遺伝性疾患を標的とした個別化治療の開発における妥当性メカニズムフレームワークの利用に関する考慮事項」は、パブリックコメントを募集しています。コメントは、Regulations.gov の連邦官報に掲載されてから 60 日以内に提出する必要があります。

FDA は、希少疾患に対する安全かつ効果的な治療法の開発を推進し、疾患がまれであるために治療が見落とされる家族がないようにすることに尽力しています。

###

HHS、個別化治療に関する FDA 承認プロセスを発表

内容：FDA は、妥当性メカニズムの枠組みに基づく個別化薬物療法および生物学的製剤療法の新たな承認プロセスに関する、待望のガイダンス案を発表します。

発表者：

ロバート・F・ケネディ保健福祉長官 (Jr.)

マーティ・マカリー食品医薬品局長 (MD、MPH)

ペンシルベニア心臓血管研究所 疾患の遺伝的・エピジェネティック起源プログラム ディレクター
キラン・ムスヌル MD

フィラデルフィア小児病院 ヒト遺伝学部門 研究担当副部長 レベッカ・アーレンズ＝ニコラス
MD

日時：2月23日(月)午前11時30分(米国東部標準時)

報道関係者は午前11時までにご来場ください。

場所：ヒューバート・H・ハンフリー・ビル グレートホール

200 Independence Avenue SW

ワシントン D.C. 2020

返信：報道関係者の方は、2月20日(金)午後3時(東部標準時)までに認証情報をお申し込みください。氏名、電話番号、身分証明書情報を記載の上、mediarsvp@hhs.gov までメールでお申し込みください。ご入場には、有効な REAL ID またはパスポートをご提示ください。

外国籍の方は、セキュリティチェックの時間を確保するため、できるだけ早く返信いただくことを強くお勧めします。外国籍の方は、お申し込みの際にその旨を必ずご記入ください。返信がない場合、大幅な遅延や入場拒否につながる可能性があります。

###

ケネディ長官、トランプ大統領の優先課題と MAHA (アメリカを再び健康にする) アジェンダの推進に向け、マネジメントチームを強化

ワシントン発—2026年2月12日—ロバート・F・ケネディ・ジュニア長官は本日、米国保健福祉省(HHS)のマネジメントチームに複数の強化を発表しました。これは、トランプ大統領の「グレート・ヘルスケア・プラン」と「メイク・アメリカ・ヘルシー・アゲイン (Make America Healthy Again)」アジェンダの導入を加速させるためです。

これらの変更の一環として、クリス・クロンプ氏が HHS の主任参事官に就任し、省全体の業務を監督します。クロンプ氏は、長年にわたるマネジメントとリーダーシップの経験をこの職に活かします。さらに、ケネディ長官は、カイル・ディアマンタス氏とグレース・グラハム氏を食品医薬品局 (FDA) の上級参事官に、ジョン・ブルックス氏をメディケア・メディケイド・サービスセンター (CMS) の上級参事官に任命しました。両氏は、ケネディ長官室での職務に加え、引き続き現職に就きます。

「わずか1年余りで、トランプ大統領の医療政策における優先事項において歴史的な進歩を遂げ、真に測定可能な変化をもたらしました」とケネディ長官は述べた。「説明責任を回復し、既得権益に挑み、アメリカ国民の健康を最優先に考えています。私は、実戦経験を持ち、信念を貫くリーダーたちを直属のチームに迎え入れることができ、誇りに思います。彼らは勇気と経験を持ち、私たちが「アメリカを再び健康に」という目標に向けて、より迅速かつ前進できるよう尽力してくれるでしょう。」

###

ケネディ長官とロリンズ長官、米国人のための食事ガイドラインの実施を祝う

内容：米国保健福祉省のロバート・F・ケネディ・ジュニア長官と米国農務省のブルック・ロリンズ長官は、2025～2030年における米国人のための食事ガイドラインの実施状況について、政府および業界関係者と最新情報を共有します。

出席者：

米国保健福祉省のロバート・F・ケネディ・ジュニア長官
米国農務省のブルック・ロリンズ長官
元世界ヘビー級無敗チャンピオンのマイク・タイソン
米国最高設計責任者のジョー・ゲビア
米国医師会（AMA）会長のボビー・ムッカマラ医師
シェフのアンドリュウ・グルエル
陸軍省のマイク・オバダル次官
米国刑務所局長のウィリアム・マーシャル

日時：2月11日（水）午前11時（東部標準時）

報道関係者の皆様は、東部標準時午前10時30分までにご来場ください。

場所：ヒューバート・H・ハンフリー・ビル グレートホール

200 Independence Avenue SW

ワシントン D.C. 2020

返信：報道関係者の皆様は、2月10日（火）午後3時（東部標準時）までに出席証明書をご請求ください。このイベントは、メディアの皆様がゲストとして参加し、プログラムを取材していただくためのものです。報道関係者による質疑応答は実施されません。

氏名、電話番号、身分証明書情報を記載の上、mediarsvp@hhs.gov までメールでお申し込みください。

ご入場には、有効な REAL ID またはパスポートをご提示ください。

外国籍の方は、セキュリティチェックの時間を確保するため、できるだけ早く返信いただくことを強くお勧めします。外国籍の方は、お申し込みの際にその旨を必ずご記入ください。返信がない場合、大幅な遅延や入場拒否につながる可能性があります。

ライブストリーム：イベントは HHS、X、YouTube、Facebook でライブ配信されます。

###

インディアン保健局、2027年までに水銀含有歯科用アマルガムの使用を終了

ワシントン発—2026年2月9日—インディアン保健局は本日、2027年までに施設内での水銀含有歯科用アマルガムの使用を終了し、インディアン保健局（IHS）および部族歯科プログラム全体で水銀を含まない修復材料に移行すると発表しました。

歯科用アマルガムは、その材料特性（強度、耐久性、そして価格の安さ）から、特に大白歯および小白歯の多面的修復において、修復歯科において広く使用されてきました。しかし、水銀曝露に関する環境および健康への懸念の高まり、そして水銀含有材料の使用削減に向けた世界的な取り組みを受けて、同局はより安全な代替材料の検討を進めています。

「これは患者を守り、被害を未然に防ぐための常識的な措置です」と、保健福祉省長官ロバート・F・ケネディ・ジュニア氏は述べています。「より安全で水銀を含まない代替品に切り替えることで、保健福祉省は予防を最優先し、部族社会と未来の世代に対する責任を果たします。これはまさに、『アメリカを再び健康にする』というアジェンダを体現する、実践的でエビデンスに基づいた行動です。」

「患者の健康と環境の保護は、インディアン保健局の最優先事項です」と、保健福祉省戦略イニシアチブ担当ディレクターの R・キム・ハートウィグ医師は述べています。「水銀を含まない修復オプションへの移行を進めるにあたり、部族施設と保健福祉省の施設において、高品質でアクセスしやすい歯科医療を継続的に提供していくためには、この移行が財政的および運営上に与える影響を理解することが重要です。私たちの土地を含む、私たちの包括的な管理は、未来の世代に対する私たちの責任です。」

2007年以降、IHS は、特に妊婦や6歳未満の乳幼児といった高リスク集団における歯科用アマルガムの使用を削減してきました。IHS は、アマルガムを用いた歯科修復を廃止し、コンポジットレジンや代替

修復に関する研修と臨床インフラへの投資を行うための方針を改定します。また、IHS は修復歯科治療の必要性を低減するための予防活動も強化します。

この移行は、米国食品医薬品局（FDA）のガイダンスに沿ったものです。FDA は、体内への水銀蓄積に関する懸念を表明し、特定の集団に対して水銀を含まない材料の使用を推奨しています。これらの高リスク集団には、妊婦とその胎児、妊娠を計画している女性、授乳中の女性とその新生児、6 歳未満の乳幼児、神経疾患のある人、腎機能障害のある人、水銀過敏症または銀、銅、スズなどの金属過敏症のある人が含まれます。

米国保健福祉省傘下の機関であるインディアン保健局は、37 州に所在する 575 の連邦政府認定部族に属する約 280 万人のアメリカン・インディアンおよびアラスカ先住民に対し、包括的な保健サービス提供システムを提供しています。Facebook、X、LinkedIn などのソーシャルメディアでインディアン保健局をフォローしてください。

###

ACL、介護者 AI 賞コンペティションの第 1 フェーズを開始

ワシントン発—2026 年 2 月 5 日—米国保健福祉省（HHS）傘下のコミュニティ生活局（ACL）は本日、ACL 介護者 AI 賞コンペティションの第 1 フェーズを開始しました。これは、人工知能（AI）の責任ある活用を通じて介護者と介護従事者を支援することを目的とした全国規模のコンテストです。

11 月にロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官によって発表されたこのコンペティションは、介護者の負担を軽減すると同時に、AI 技術の偏った、安全でない、または有害な利用を防ぐ実用的な AI ソリューションの創出を促進することを目的としています。

このコンペティションでは、技術革新者に対し、介護者、在宅介護提供者、高齢者・障害者ネットワークに関わる組織と連携し、在宅ケアと地域社会におけるケアを強化するツールの開発を呼びかけています。この取り組みは、国立老化研究所（NIA）の高齢化研究のための人工知能技術協力機関や中小企業イノベーション研究ポートフォリオなど、連邦政府の AI イニシアチブを基盤としています。

「HHS（保健福祉省）は、ケアのあらゆる場面で AI の導入を主導しています」と、ジム・オニール保健サービス副長官は述べています。「私たちは、イノベーターたちに、国全体のケアの質の向上に貢献するよう呼びかけています。応募作品を見るのを楽しみにしています。」

連邦政府の指導者たちは最近、CES 2026 と、RAISE ファミリー介護諮問委員会と孫を育てる祖父母支援諮問委員会の合同オンライン会議で、このコンテストについて紹介しました。

「この賞品付きコンテストを通じて、介護者を支援し、意図しないネグレクトにつながる可能性のある介護者のバーンアウトを軽減し、在宅での質の高いケアへのアクセスを拡大する技術特定することを目指しています」と、コミュニティ生活局長官代行兼高齢化担当次官のメアリー・ラザール氏は述べています。「ACL は、日々介護を提供し、介護を受ける何百万人ものアメリカ人の生活を向上させる、拡張可能で実用的なソリューションを推進することに尽力しています。」

コンテストは 3 つのフェーズで実施されます。フェーズ 1 の参加者は、最大 250 万ドルの賞金をかけて競い合い、最大 20 名の受賞者に賞金が授与される予定です。この資金は、介護と介護従事者の能力強化を支援する AI ツールの開発を支援することを目的としています。

このコンテストは、AI の革新的な活用方法に焦点を当てており、具体的には以下の通り：

- オンデマンドのサポートとトレーニングの提供
- 健康状態のモニタリング
- プロセスと文書作成の自動化により、介護者は最も大切なこと、つまりケアを受ける人々に集中できるようにする。

コンテストには 2 つのトラックがあります。

- トラック1：家族、友人、または直接介護を行う職員が、自宅で安全で利用者中心のケアを提供できるよう支援するAI介護者ツール。
 - トラック2：在宅介護組織の効率、スケジュール管理、トレーニングの改善を支援するAI介護者職員ツール。
- フェーズ1の詳細については、Caregiver AI Prize Competitionをご覧ください。

###

FDA、「人工着色料不使用」表示への新たなアプローチ

ワシントン発—2026年2月5日—本日、米国食品医薬品局（FDA）は、我が国の食品供給における石油由来の人工着色料から天然由来の代替着色料への移行を支援するため、追加措置を講じました。これにより、企業は製品に石油由来の着色料が含まれない場合、「人工着色料不使用」と表示できる柔軟性が高まります。これまで、一般的に、製品に天然由来か否かを問わず、いかなる着色料も添加されていない場合にのみ、このような表示を行うことができました。

FDAは、これらの自主的な表示に関して、執行上の裁量権を行使する意向を業界に通知する書簡を送付しました。

「これは真の進歩です」と、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は述べました。「企業が石油由来の合成着色料から脱却し、より安全で天然由来の代替品を採用することを容易にしています。この勢いは、アメリカ国民が本物の食品を食べ、アメリカを再び健康にするという、私たちの幅広い取り組みを前進させるものです。」

さらに、FDAは本日、新たな着色料としてビートルートレッドを承認し、天然由来の既存の着色料であるスピルリナ抽出物の使用拡大も承認しました。これらの措置は2つの請願によって開始され、業界が石油由来の食品着色料から移行するのをさらに促進するでしょう。これにより、現政権下で承認された新たな食品着色料の選択肢は合計6つとなりました。

「天然由来の着色料を『人工』と呼ぶことは、消費者にとって混乱を招き、企業が代替の食品着色料の選択肢を検討する上で障害となる可能性があることを認識しています」と、FDA長官のマーティ・マカリー医学博士（公衆衛生学修士）は述べています。「私たちはこうした障害を取り除き、企業が私たちの家族が毎日口にする食品にこれらの着色料を使用しやすくします。」

この取り組みは、HHS（保健福祉省）とFDA（食品医薬品局）がこれまで企業に対し、食品における石油由来着色料の使用を段階的に廃止するよう促してきた取り組みを基盤としています。2025年4月、HHSとFDAは、業界と協力し、国の食品供給から石油由来の合成着色料の使用を段階的に廃止するための一連の新たな措置を発表しました。これは、政権の「アメリカを再び健康にする」という広範な取り組みにおける重要な節目です。食品供給からの石油由来着色料の排除に向けた進捗状況は、FDAの「食品業界の石油由来着色料排除誓約の追跡」で公開されています。

「私たちは、業界による石油由来着色料の段階的廃止を促進し、代替原料由来の着色料の認可を迅速化するために、熱心に取り組んでいます」と、食品担当副長官のカイル・ディアマンタス法務博士は述べています。本日発表された措置により、企業は天然由来の代替着色料への移行をさらに進めることができます。

FDAは、製造業者に対し、天然由来のものを含む代替着色料への移行を奨励する一方で、着色料の安全性を確保する責任を製造業者に改めて認識させています。そのため、FDAは、認可された着色料の製造業者が安全性と純度の高い基準を維持する上で役立つ可能性のあるリソースを特に強調した書簡を発行します。

###

ケネディ長官、全米肉牛生産者協会主催の「キャトルコン」で講演

ナッシュビル発—2026年2月3日—ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は、全米肉牛生産者協会（National Cattlemen's Beef Association）のバック・ワーバイン会長と、テネシー州ナッシュビルで木曜日に開催される炉辺談話会に出席します。この炉辺談話会では、国家の栄養課題と、最近発表された「2025~2030年版 アメリカ人のための食事ガイドライン」について議論します。

内容：全米肉牛生産者協会主催の「キャトルコン」での炉辺談話会

登壇者：ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官

全米肉牛生産者協会（National Cattlemen's Beef Association）のバック・ワーバイン会長

日時：2月5日（木）午後1時30分（東部標準時）

メディアの皆様は、準備とセキュリティチェックのため、午前10時30分（中部標準時）までにご来場ください。

場所：ミュージック・シティ・センター、カール・F・ディーン・ボールルーム、201 Fifth Avenue South、ナッシュビル、テネシー州 37203

参加申込：メディア関係者の方は、2月4日（水）午後5時（中部標準時）までに

<https://registration.experientevent.com/ShowMOO261/Flow/MEDIA> にて事前参加申込をお願いいたします。

###

NIH、オハイオ州イーストパレスチンに列車事故調査のため健康研究オフィスを開設

オハイオ州イーストパレスチン発—2026年2月3日—米国保健福祉省傘下の国立衛生研究所（NIH）は本日、2023年に発生した列車脱線事故による長期的な健康への影響を評価し、対処するため、イーストパレスチン列車脱線事故健康研究プログラム・オフィスを開設しました。この新オフィスは、NIHが資金提供する5年間、1,000万ドルの研究イニシアチブの中核となります。

連邦政府の研究専門家は、新オフィスを通じて、地域社会と直接連携し、研究を調整し、連邦政府が支援する健康研究への住民の登録を支援します。

「NIHの研究ハブは、イーストパレスチンの人々に、健康に関する明確な答えを得る道筋を提供します」と、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は述べました。「この環境災害の影響を受けたすべての人は、自分たちの健康を第一に考える、独立した最高水準の科学にアクセスする権利があります。」

3年前の2023年2月3日、ノーフォーク・サザン鉄道の貨物列車が脱線し、塩化ビニル、アクリル酸ブチル、エチレングリコール、ベンゼン残留物などの有害化学物質を積んだ38両の貨車が巻き込まれました。この事故により、イースト・パレスチナで長時間にわたる火災と制御された焼却が発生しました。複数の貨車が2日以上燃え続け、緊急対応要員は制御された焼却を実施しましたが、塩化水素とホスゲンの空気中への放出の可能性が懸念されました。

地元住民は、頭痛、呼吸器系、皮膚、眼の炎症など、様々な初期症状を報告しました。これらの報告は、母子の健康、心理、免疫、呼吸器、心臓血管の健康への長期的な影響の可能性に対する懸念を引き起こしました。

「この研究プログラムは、厳密で独立した科学を地域社会に直接届けることを目的としています」と、NIH所長のジェイ・バッタチャリア氏は述べています。「地域に拠点を設けることで、住民とのより緊密な連携、研究への参加支援、そして研究が被災者の真の経験と懸念を反映したものとなることを保証できます。」

この研究プログラムは、2023年の災害による公衆衛生への影響について、住民に明確かつ信頼できる情報を提供するとともに、連邦政府の大規模な環境衛生事象への対応能力を強化することを目的としています。

NIH 国立環境衛生科学研究所、ケンタッキー大学、ピッツバーグ大学、イェール大学の研究者と代表者に加え、地方、州、連邦の指導者、地域住民、医療提供者もこのイベントに参加しました。グラントオープン後、住民、研究者、公衆衛生指導者が地域集会を主催し、研究プログラムの概要、住民が研究に参加する方法の説明、そして地域住民が研究者に直接質問したり、経験を共有したりする機会が設けられました。

###

HHS（保健福祉省）幹部、小児における性別適合手術の否定を表明した米国形成外科学会（ASPS）を称賛

ワシントン発—2026年2月3日—米国保健福祉省（HHS）幹部は本日、米国形成外科学会（ASPS）が性別違和のある未成年者に対するこれらの手術を否定する立場表明[PDF]を発表したことを受け、ASPSが有害な性別適合手術から子どもたちを守ってきたことを称賛する声明を発表しました。

ASPSは、HHSの報告書「小児性違和の治療：エビデンスとベストプラクティスのレビュー」を一部引用し、性別適合手術を支持するエビデンスを「質が低い／確実性が低い」と宣言しました。ASPSの立場表明では、「小児および青年における性別関連の内分泌療法および外科的介入の経路について、好ましいリスク・ベネフィット比を示すエビデンスは不十分である」と指摘しています。

「過剰医療化の圧力に立ち向かい、健全な科学を擁護する米国形成外科学会を称賛します」と、ロバート・F・ケネディ保健福祉長官は述べた。「この立場を取ることで、彼らは未来のアメリカの子供たちを不可逆的な危害から守る一助となるのです。」

「本日は、トランプ政権における生物学的真実のための新たな勝利です」と、ジム・オニール保健福祉副長官は述べた。「米国形成外科学会は、すべての医療提供団体が従うべき科学的・医学的基準を確立しました。」

「将来の医療倫理の教科書が出版される時、未成年者に対する性行為拒否手術は、私たちがロボットミニー手術を振り返るのと同じように、振り返ることになるでしょう」と、メディケア・メディケイドセンターのメフメット・オズ長官は述べた。「米国形成外科学会が、これらの危険で非科学的な実験に反対することで、歴史の正しい側に立ったことを称賛します。」

「アメリカではほぼ毎日、新たな大規模病院システムが未成年者に対する性別適合手術という悲劇的で不可逆的な慣行を終わらせつつあります」と、保健福祉省（HHS）のマイク・スチュアート法務顧問は述べた。「米国形成外科学会（ASPS）は、ケネディ国務長官と共に、この重要な問題に勇敢に取り組んでいます。」

ASPSは1931年に設立され、11,000人以上の医師会員を擁し、美容整形外科および再建形成外科の第一人者です。

ASPSの意見表明は、HHSの報告書を引用し、性別違和の自然経過について説明しています。これは、症状が未治療のまま放置された場合に何が起こるかを検討するものです。小児の場合、性別違和を持つ人の大多数は医療介入なしに治癒する傾向があり、青年期においても、既存のエビデンスから、大多数が同様に寛解することが示唆されています。意見表明は、医療介入なしに治癒する可能性のある症状に対する医療介入の倫理的影響について、HHSの報告書が検討していることを強調しています。

自主性の原則について、HHS報告書は「患者の自主性を尊重することは、患者の健康を守り、促進するという臨床医の専門的かつ倫理的な義務を否定するものではない」と結論付けています。ASPSの意見表明も同様に、思春期の自主性は、医療従事者にエビデンスに裏付けられていない性行為を拒否する処置を行う義務を課すものではないとしています。

###

BARDA、新規広域スペクトル抗ウイルス薬のイノベーション促進に向け、1億ドルの賞金コンペティションを開始

ワシントン発—2026年2月3日—本日、戦略準備対応局（ASPR）傘下の生物医学先端研究開発局（BARDA）は、BARDAアクセラレーター・ネットワーク・ハブであるVITALと共同で、トガウイルス科およびフラビウイルス科のウイルスを標的とした広域スペクトル低分子抗ウイルス薬の開発を支援する1億ドル規模のイニシアチブ「SMART抗ウイルス賞」の募集を開始しました。

「現在、デング熱、ジカウイルス、ウエストナイルウイルス、チクングニアウイルスを含むこれらの科のウイルスに対して、FDA承認の広域スペクトル抗ウイルス薬は存在しません」と、ASPR首席次官補のジョン・ノックス氏は述べています。「これらのギャップを埋める、より強力な抗ウイルス薬パイプラインの構築は、備えを強化し、国家の健康安全保障を守り、アウトブレイク発生時の迅速な治療を可能にするために不可欠です。」

SMART (Small Molecule Approaches for Rapid and Robust Treatment) 賞は、医薬品開発、ウイルス学、人工知能、医薬品化学、公衆衛生の専門家を結集し、同一ファミリー内の複数のウイルスを標的とし、投与が容易で耐性のある抗ウイルス薬の開発を支援します。これらのウイルスは毎年数百万人の感染を引き起こしています。

「SMART 抗ウイルス賞は、BARDA が革新的なパートナーシップモデルを用いて、伝統的および非伝統的なイノベーターの両方が、国民の健康を守るのに役立つ創造的で実現可能なソリューションを開発することを奨励していることを示しています」と、BARDA のゲイリー・ディスブロー所長博士は述べています。「臨床段階に進む広域スペクトル抗ウイルス薬は、今日の脅威だけでなく、今後起こりうる脅威からもアメリカ国民を守り、私たちのコミュニティにさらなる価値とより強力な保護をもたらすでしょう。」

賞金付きコンペティションは複数の段階で構成される予定で、本日開始されるコンセプトステージ募集から開始されます。この段階では、応募者はトガウイルス科および/またはフラビウイルス科に対する広域スペクトル低分子抗ウイルス薬の創製または開発計画を記述したコンセプトペーパーを提出する必要があります。

さらに最大3つの段階が予定されています。

- Hit-to-lead：有望な候補薬を特定し、対象となるウイルスファミリーに対して再現性のある抗ウイルス活性を示す試験を完了する。
- リード最適化：薬剤の特性を最適化し、in vivo での有効性を実証し、治験薬 (IND) 申請準備試験に最適な候補薬を特定する。
- IND 申請準備：FDA がヒト安全性試験に要求する非臨床試験を完了し、FDA との適切なやり取りを行い、臨床試験開始に適した IND 申請準備書類を作成する。

VITAL は、2026年2月より SMART Antiviral Prize のバーチャル情報セッションをシリーズで開催します。イベントへの登録やコンテストの詳細については、VITAL の SMART Antiviral Prize ウェブサイトをご覧ください。

###

ケネディ保健福祉長官、「健康を取り戻そう」ツアーをテネシー州で開催

ナッシュビル発—2026年2月3日—「健康を取り戻そう」ツアーの一環として、ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官は水曜日、テネシー州ナッシュビルを訪れ、リー・テネシー州知事、選出議員、そして支持者らと共に州議会議事堂で集会を行います。

内容：「健康を取り戻そう」集会と記者会見

出席者：

ロバート・F・ケネディ・ジュニア保健福祉長官
ビル・リー州知事
ランド・マクナリー副知事兼上院議員
キャメロン・セクストン下院議長
ジャック・ジョンソン上院多数党院内総務
ウィリアム・ランバース下院多数党院内総務

日時：2月4日 (水) 午前11時15分 (中部標準時)

場所：テネシー州議会議事堂 (600 Dr. M.L.K. Jr Blvd, Nashville, TN 37243)

返信：メディア関係者は、2月3日 (火) 午後6時 (中部標準時) までに Elizabeth.L.Johnson@tn.gov まで返信してください。

###

ケネディ長官、アメリカの復興に1億ドル(約156億円)の投資を発表

メリーランド州オクソンヒル発—2026年2月2日—ロバート・F・ケネディ保健福祉長官 (HHS) は本日、予防の強化、治療の拡充、そしてトランプ大統領が先週署名したアメリカの復興推進のための大統領令の履行に向けた包括的な計画を発表しました。この計画の中心となるのは、長年のホームレス問題の解決、オピオイド依存症との闘い、そして回復と自立を重視した治療の拡充による公共の安全向上のための1億ドルの投資です。

「回復、関与、そしてエビデンスに基づく治療と支援による安全」(STREETS) イニシアチブは、対象を絞ったアウトリーチ、精神科医療、医療安定化、危機介入に資金を提供し、ホームレスや依存症を経験するアメリカ人を、長期的な回復と自立を明確に重視した安定した住居へとつなげます。

「依存症は孤立から始まり、再び繋がりを取り戻すことで終わります」と、トランプ大統領のグレート・アメリカン・リカバリー・イニシアチブ共同議長を務めるケネディ長官は述べた。「トランプ大統領のリーダーシップのおかげで、依存症に苦しむアメリカ国民を影から救い出し、地域社会に復帰させています。」

ケネディ長官は、保健福祉省 (HHS) 傘下の薬物乱用・精神保健サービス局 (SAMHSA) が主催した、薬物使用防止を推進するための政府主催の最大の集会「プリベンション・デー」でこの発表を行った。

ケネディ長官が指揮した1億ドルの投資は、バイデン政権時代の政策とは明らかに異なるものである。バイデン政権時代の政策は誤った方向に進み、アメリカの地域社会における死、依存症、ホームレス、犯罪の蔓延を食い止めることができなかった。これらの政策は、個人の予防と治療ではなく、害の軽減、住宅確保支援、将来の薬物使用を助長するその他の戦略といった、効果のない介入に重点を置いていた。そして、回復を目指す人々が地域社会で生産的な生活を送れるよう支援することを全く意図していなかったのだ。

SAMHSA の調査データによると、12歳以上の人々の物質使用障害 (アルコールやその他の薬物の反復使用によって引き起こされる障害) は、2019年の7.4%から2024年には16.8%に増加しました。2024年に物質使用障害を抱える人の10人中8人近くが治療を受けていません。

ケネディ長官はまた、重度の精神疾患を抱える成人を支援するための1,000万ドルの外来治療支援 (AOT) 助成金プログラムを発表しました。AOTは、従来の外来治療を受けることができず、地域社会で安全に生活することが難しい可能性のある重度の精神疾患を抱える成人を対象とした、民事裁判所の命令による地域密着型の外来精神保健治療プログラムです。このプログラムは、より費用のかかる制限的なケア、ホームレス、刑事司法制度との関わりに代わる、地域密着型の治療への参加を支援する民事裁判所制度の範囲内で機能するように設計されています。

トランプ大統領は2025年7月24日に「アメリカの路上における犯罪と無秩序の終結」に関する大統領令を発令し、SAMHSA (米国麻薬・薬物乱用防止局) の助成金を、実績のあるエビデンスに基づく薬物使用障害プログラムと、重度の精神疾患や依存症を抱える人々を路上生活から脱却させ、安定した住居と支援ネットワークへと導く外来治療支援に充てるよう指示しました。SAMHSAは2025年9月、州のオピオイド対策プログラムの受給者に対し、若年成人の禁酒または回復のための住居支援に重点を置くため、4,500万ドル以上の新たな追加資金を交付しました。

STREETS イニシアチブと AOT 助成金の発表は、SAMHSA による 2026 年度の年間一括交付金の初回配分である 7 億 9,400 万ドルと同時に発表されました。このうち 3 億 1,900 万ドルは、重度の精神疾患を抱える成人と重度の情緒障害を抱える子どもたちのための包括的な地域精神保健サービスに、4 億 7,500 万ドルは、薬物乱用の予防と治療を目的とした SAMHSA の薬物使用予防・治療・回復サービス一括交付金プログラムに充てられます。

薬物使用障害による家庭崩壊を防ぐため、HHS (保健福祉省) 児童家族局は本日、ケネディ長官の計画に基づき、オピオイド使用障害治療薬 (MOUD) 3 種類を連邦資金援助の対象となる予防サービスに追加しました。州および部族は、児童が里親制度に入所する差し迫った危険にさらされているものの、これらの治療を受けられる家庭または親族家庭で安全に生活できる場合、ブプレノルフィン、メサドン、ナルトレキソンを親に提供するために、それぞれ連邦政府から 50% の補助を受けることができます。

これら 3 種類の MOUD はすべて、米国食品医薬品局 (FDA) の承認を受け、確立されたエビデンスに基づくツールであり、回復を支援し、家族の安定を促進し、児童福祉への関与に関連するリスク要因を軽減します。

SAMHSA と ACF は、両機関が宗教団体によるプログラムおよび活動への全面的な参加を歓迎することを強調するため、「Dear Colleague」レターを発行する予定です。

トランプ大統領は、2025年2月7日にホワイトハウス信仰局を設立した際、「行政機関は、宗教に基づく団体、地域団体、そして礼拝所が、法律で認められる最大限の範囲で、助成金、契約、プログラム、その他の連邦政府資金提供の機会を巡り、公平な競争をすることを望んでいる」と宣言しました。

###

CDC、バイオサーベイランス・プログラムへの自発的な航空旅行者参加者が100万人を突破

ワシントン発—2026年1月30日—米国疾病対策予防センター（CDC）は本日、旅行者ベースのゲノムサーベイランス（TGS）プログラムの自発的な参加者が100万人を突破したと発表しました。これは、国境における新たな公衆衛生上の脅威を検知し、対応する米国の能力において、重要な節目となります。

TGSは、米国が疾病サーベイランスを強化し、国民を守るために活用している多くのツールの一つです。米国の一部の空港で到着する国際旅行者から自発的かつ匿名でサンプルを採取することで、このプログラムは、新興病原体や変異株が米国内で広く蔓延する前に、早期に知見を提供します。

「米国は公衆衛生における世界の主導的な権威です」と、保健福祉省（HHS）副長官兼 CDC 長官代行のジム・オニール氏は述べています。「旅行者の幅広い参加は、説明責任のない国際的な官僚機構に頼ることなく、国内で開発、運用、管理されたツールを用いて国家を守る能力を高めます。」

TGS プログラムは、Ginkgo Biosecurity や XWell といった組織との官民パートナーシップ、そして一部の米国空港の協力を得て運営されています。これらのパートナーシップにより、CDC は、世界の他の地域で検査や遺伝子配列情報が限られている場合でも、迅速なバイオサーベイランスデータを生成することができます。

2021年に開始された TGS は、到着する国際旅行者における感染症を監視し、季節性呼吸器ウイルスやその他の公衆衛生上の懸念のある病原体の新たな変異株の早期発見に重点を置いています。例えば、このプログラムは、インフルエンザ H3N2 サブクレード K の最初の2回の検出を、次に遺伝子配列が公表される7日前に公的リポジトリに報告しました。これは、米国を拠点とする早期サーベイランスの価値を実証しています。

このプログラムへの参加は任意かつ匿名です。CDC は、より広範なバイオサーベイランス活動の一環として、旅行者の鼻腔サンプルに加え、2,600件以上の航空機排水サンプルを分析しました。

トランプ大統領が明言したように、米国は国内の能力強化、医療イノベーションの推進、そして感染症の脅威への迅速な対応の確保を通じて、公衆衛生における世界のリーダーであり続けます。TGS のようなプログラムは、国家バイオセキュリティの強化を通じて、このコミットメントを反映しています。

###